

お客様へ

- ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。

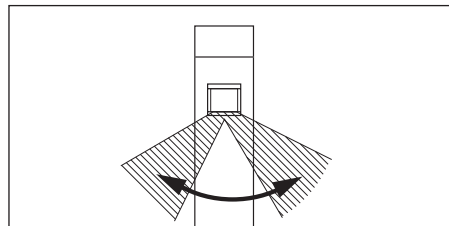
工事店様へ

- 施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人感センサー付照明器具の特徴

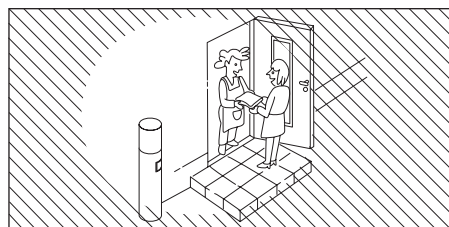
センサー機能

センサーが人を検知すると、ランプが100%点灯します。
人がいなくなると設定された点灯時間(約180秒、約60秒、約30秒)経過後、消灯します。
センサー部が可動できるので、照明器具の設置場所やアプローチの状況に合わせて最適な検知範囲を設定できます。
隣家や前面道路などを検知範囲からはずしたい時に便利です。

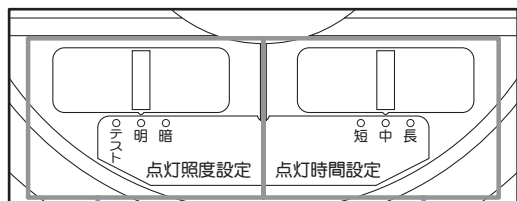
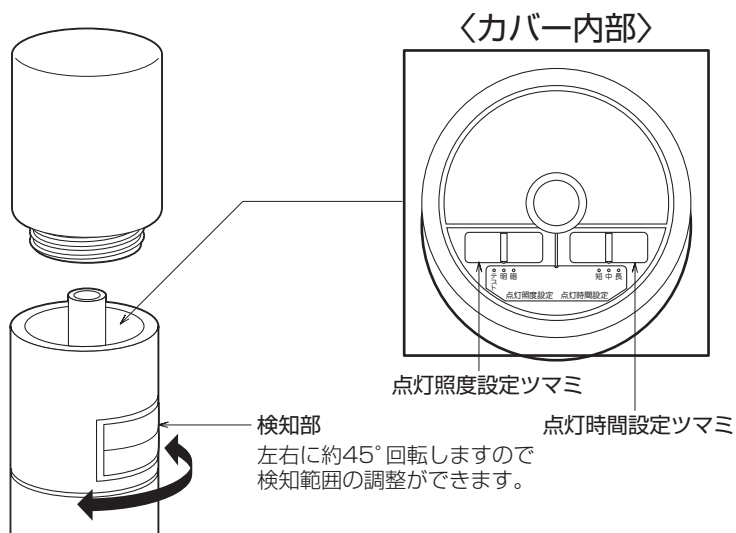


強制ON(連続点灯)

連続して点灯させたい時は壁スイッチをオフにして3秒以内にオンにすると、強制的にランプを100%点灯できます。
解除するときは一旦壁スイッチをオフにし、5秒以上経過後、再びオンにするとセンサー動作に戻ります。



センサー各部の名称



点灯照度設定ツマミを動かすことでセンサー可動する明るさの設定と検知エリア確認(テストモード)ができます。

点灯時間設定ツマミを動かすことでランプの点灯時間を設定することができます。

注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。
必ず感知エリアを確認してください。
(P.2を参照してください。)

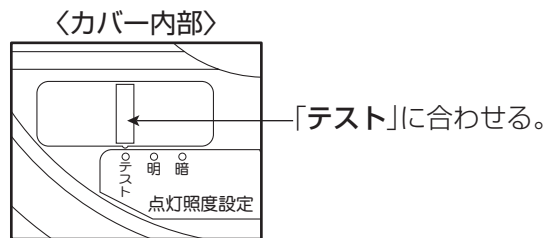
**エリアマスク
貼り付け位置**

この説明書は必ずお客様にお渡しください

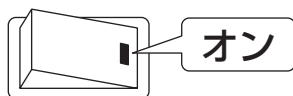
初めて使う時・・・テストモード(検知範囲を確認する)

テストモードにすると、昼間・夜間に関係なくセンサーの検知範囲に人が入ればランプが約5秒間100%で点灯し、その後消灯します。

1. カバー内部センサー左側の点灯照度設定のつまみを「テスト」に合わせる。



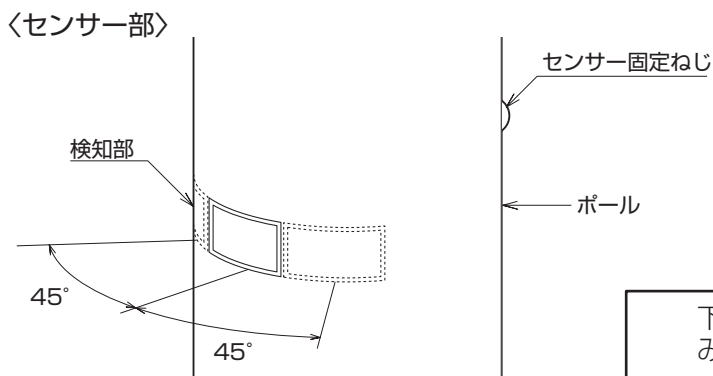
2. 壁スイッチを「オン」にする。



注) 壁スイッチを「オン」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

強制点灯(約30秒)後、テストモードになります。
周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間ランプが点灯するので検知範囲を確認してください。

3. センサーの検知部を動かし、検知範囲を決める。



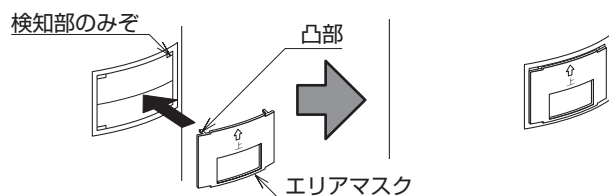
センサー部を動かすことにより、検知範囲方向が左45°、右45°調整ができますので、センサー固定ねじをゆるめて設定してください。
設定後センサー固定ねじを十分に締め付けてください。

注) センサーに向かった動作は検知しにくい場合があります。

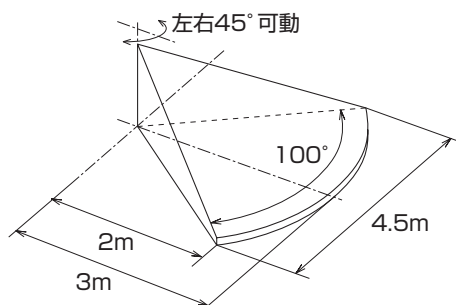
注) 検知範囲の近くに人や車が通る道などがあると、センサーが検知し、ランプが点灯する場合があります。
その際は検知範囲方向を変更してください。

〈エアーマスクの取付方法〉

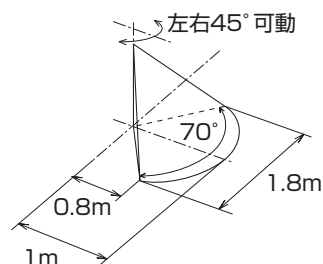
下図のようにエアーマスクの凸部を検知部のみぞにはめてください。



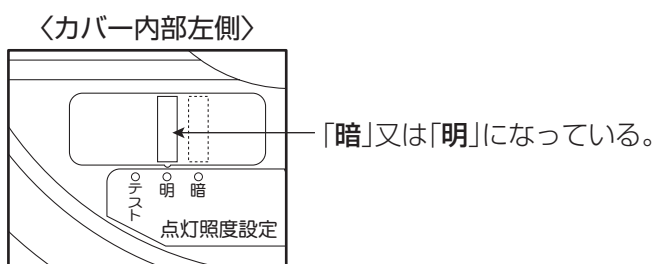
〈センサーの検知範囲〉



エアーマスクを取付けた時



4. センサーが動作する明るさを決める。



カバー内部センサー左側の点灯照度設定のつまみを「暗」又は「明」に合わせる。

夜暗くなりかけてから点灯させたい。
また、明け方早くに消灯させたい。(約15ルクス以下)
→「暗」に合わせてください。

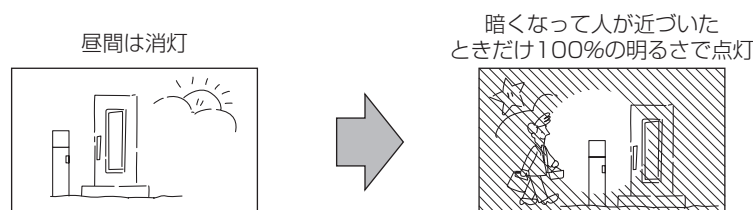
夕方のやや明るい時から点灯させたい。
また、明け方に消灯させたい。(約45ルクス以下)
→「明」に合わせてください。

こんな使い方ができます

カバー内部センサー右側の「点灯時間設定」のつまみを動かすことでランプの点灯時間(約180秒、約60秒、約30秒)を設定することができます。又、壁スイッチの操作で「強制ONモード」もできます。
この人感センサー付き照明器具は、「強制ONモード」を除き、壁スイッチをONの状態でご使用ください。

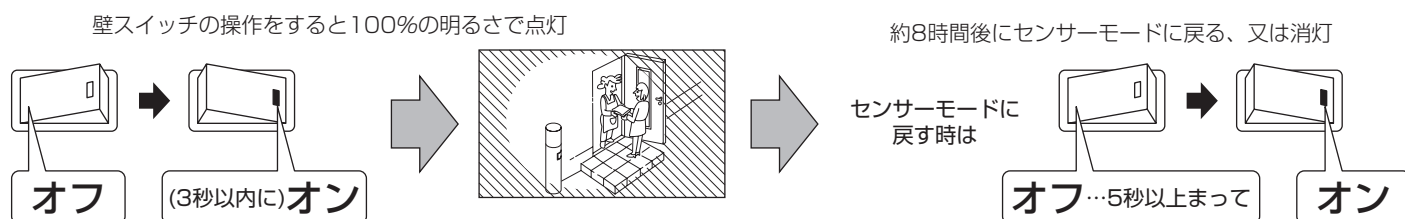
人が来たときだけ明るくしたい

動作設定方法へ



好きな時に照明を点灯させたい

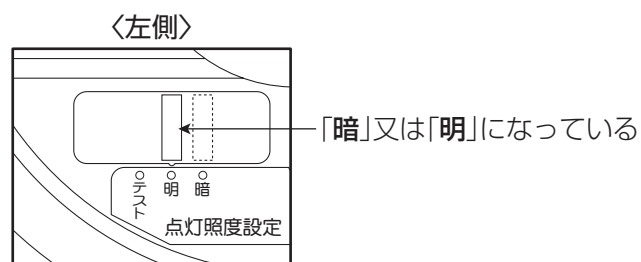
強制ONモードの操作へ



動作設定方法

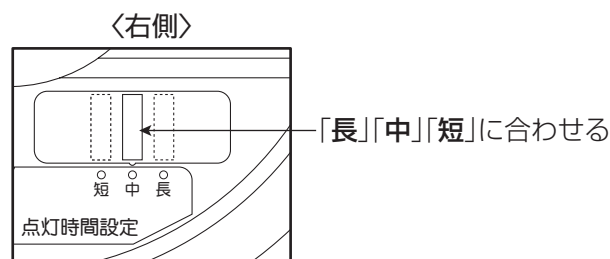
1. カバー内部センサー左側の「点灯照度設定」のつまみが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

注) 「暗」、「明」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。

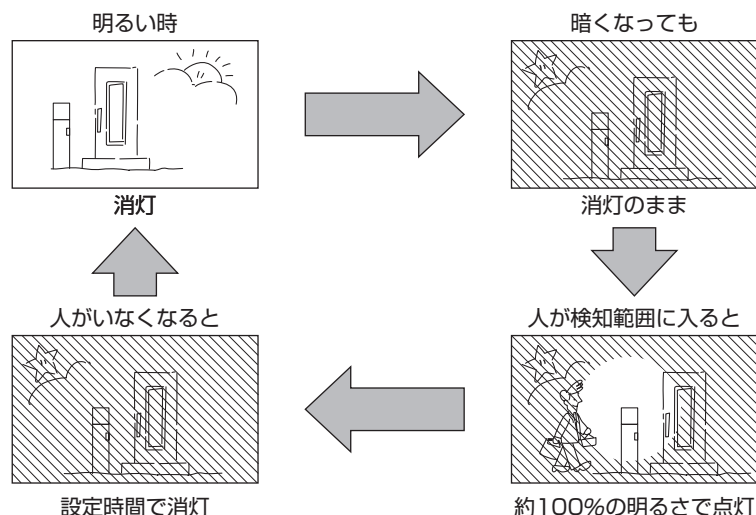


2. カバー内部センサー右側の「点灯時間設定」のつまみを「長」「中」「短」に合わせる。

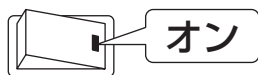
ランプ点灯時間 「長」・・・約180秒間
「中」・・・約 60 秒間
「短」・・・約 30 秒間



〈動作〉

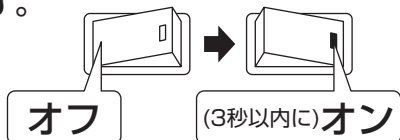


1. 壁スイッチが「オン」になっている。



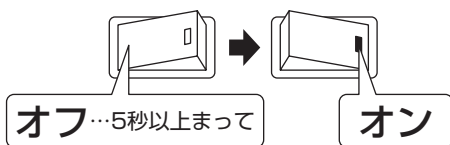
注) 壁スイッチが「オフ」の時は、「オン」にしてください。この時、約30秒間100%点灯します。(故障ではありません。)

2. 壁スイッチを「オフ」にして、約3秒以内に「オン」に戻す。



注) 強制ONモードは、人の有無、昼間・夜間に関係なく、ランプは約8時間100%点灯します。
その後はセンサーモードに戻ります。

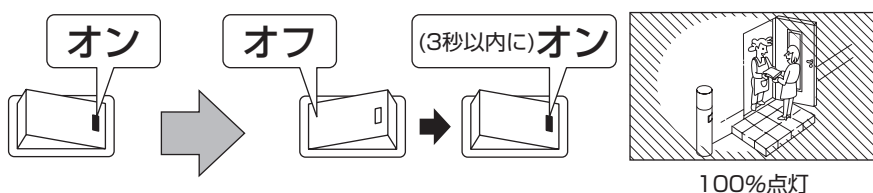
3. センサーモードに戻すときは、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にする。



注) 壁スイッチの「オフ」時間が5秒より短い場合は、強制ONモードが継続(100%点灯が8時間)されますので、必ず5秒以上「オフ」にしてから「オン」に戻してください。

〈強制ONモードの動作〉

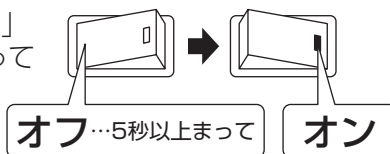
強制ONモード



100%点灯

強制ONモード解除

解除する時は、「オフ」にして、5秒以上たってから「オン」にする

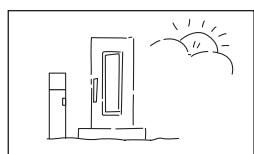


又は

強制ONモードにして約8時間経過する

明るい時

暗い時



消灯



消灯

注) 壁スイッチを「オン」にした直後は約30秒間100%点灯します。(故障ではありません。)

修理を依頼される前に

- センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
- もし、正常に戻らない時は、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから、「オン」にしてください。
- 処置をした後でも異常があるときは必ず電源を「オフ」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現 象		考えられる原因		処置方法
ランプが点灯したままで消灯しない		壁スイッチを「オフ」にして約3秒以内に「オン」にした。（「強制ONモード」）		「強制ONモード」になっています。壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
	明け方	カバー内部センサー左側の「点灯照度設定」のツマミが「明」になっている。		朝、明るくなる頃までセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「暗」にしてください。（→「初めて使う時」をご参照ください。）
	明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。（昼間でも暗い時がある。）		薄暗い時にセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「暗」にしてください。（→「初めて使う時」をご参照ください。）
		昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。		
検知範囲に人がいるのに点灯しない	夕方	カバー内部センサー左側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」になっている。		暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「明」にしてください。（→「初めて使う時」をご参照ください。）
	暗いとき	ランプが切れている。		新しいランプに交換する。（→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。）
		ランプが緩んでいる。		ランプを締め直す。（→照明器具の取扱説明書をご参照ください。）
		壁スイッチがオフになっている。		壁スイッチをオンにする。
		センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。		1.センサーの検知部に当たる光を遮断してください。 2.検知範囲内の照明器具を取り除いてください。
		センサーの検知部が汚れている。		センサーの検知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

現象		考えられる原因		処置方法
検知範囲に人がいないのに点灯する	→	電源を「オン」にした直後。 又は、停電から復帰直後。	→	電源を「オン」にした時は、 約30秒間100%点灯します。
	→	暗いとき 検知範囲内に人以外の熱源がある。 例：自動車の熱やヘッドライト 近くの道路の通行人 犬や猫などの動物 風などでよく揺れるもの (洗濯物、旗、植木など) 他の照明器具 エアコンなどの吹出口からの風 強いノイズ(無線ノイズなど)	→	1. 検知範囲を調整する。 (→初めて使う時をご参照ください。) 2. 熱源を取り除く。 検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが動作することがあります。
検知範囲に人がいるのに消灯する	→	カバー内部センサー左側の「点灯照度設定」のつまみが「テスト」になっている。 (約5秒間100%点灯し、その後消灯する。)	→	「点灯照度」のつまみを「明」又は「暗」にしてください。 (→「初めて使う時」をご参照ください。)
	→	暗いとき 検知範囲内で人が静止している。	→	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	→	暗いとき 雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	→	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなることがあります。
		マフラーで顔を覆ったり手袋をしていて肌の露出部分が少ない。	→	
		夏の暑い日などで周囲温度と人との温度差が少ない。	→	センサーの特性上、正面から近づくと検知しにくい時があります。 センサーの検知部を少しだけ左、又は右に回転させてください。
		器具(センサー)に向かって正面から近づいている。	→	

クリーニング方法

- 乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
- クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。



直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。



取扱説明書

保管用

施工説明付き

(LED防雨形ポール灯)

※対象品番は仕様欄をご参照ください。

お客様へ

このたびは、大光電機製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
本説明書は大切に保管してください。

●安全上のご注意

必ずお守りください。

●人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
(下図は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。



してはいけない内容です。

⚠ 警告



厳守

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店または弊社「CSセンター」にご相談ください。
- 適合LED以外は使用しない
間違った種類、ワット数のLEDを使用した場合、火災・感電の原因となります。



禁止



分解禁止

- 器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わない
火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の近くにストーブ等の温度の高くなるものを置かない
火災の原因となります。
- 器具の改造、部品の変更は行わない
火災・感電・落下等の原因となります。

⚠ 注意



厳守

- 照明器具には寿命があります。
設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。



厳守



禁止



接触禁止

- LED交換やお手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となります。
- 器具の取外しは工事店、販売店に依頼する
器具の取外しには資格が必要です。
- 器具に直射日光が当たる状態で点灯させない
温度上昇による器具の短寿命・一時的な明るさ低下・不点灯の原因となります。
- LEDを直視しない
目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 点灯中や消灯直後は器具やLEDにさわらない
やけどの原因となります。

施工説明

工事店様へ

施工前によくお読みのうえ、正しく施工してください。
本説明書は必ずお客様にお渡しください。

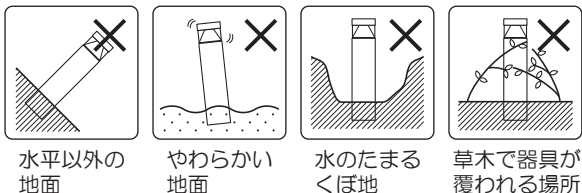
●安全上のご注意

必ずお守りください。

⚠ 警告

●取付面

- 指定場所以外には取付けない
火災・感電・転倒の原因となります。
※この器具は地面取付専用(埋込式)です。



水平以外の地面 やわらかい地面 水のたまるくぼ地 草木で器具が覆われる場所



厳守

- 湿気が多い場所や浴室・サウナでは使用しない
火災・感電の原因となります。
※この器具は防雨形器具です。
- 塩害地域には取付けない
早期に錆・腐食等が生じ、火災・感電・転倒の原因となります。
※この器具は耐塩仕様ではありません。
- 取付面の強度を確保する
取付面が強度不足の場合、転倒の原因となります。
- ポールを指定寸法の取付面に確実に取付ける
絶縁不良・転倒の原因となります。



禁止

- ガス機器等の温度の高くなるものの近くに取付けない
火災の原因となります。

●壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災の原因となります。
※調光器の取外しが必要です。



厳守



●その他

- 取付けは器具本体表示または本説明書に従って確実に
行う
取付けに不備があると、火災・感電・転倒・絶縁不良・漏電の原因となります。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災・感電の原因となります。
- 電源線と口出し線は確実に結線し、必ず絶縁・防水処理を行う
処理が不完全な場合、火災・感電・絶縁不良・漏電の原因となります。



厳守



アース工事

- アース工事は、電気設備の技術基準に従って確実に
行う
アースが不完全な場合、感電の原因となります。

●取付け前の注意事項について

- 施工に関しては、電気設備技術基準、内線規程に従ってください。
 - 地上配線する場合は、地上配線用穴からキャプタイヤケーブル等で配線してください。
 - 地中配線する場合は、地中配線用穴までケーブルを保護管等で保護して配線してください。
- ※キャプタイヤケーブル、ケーブル、保護管は器具には付属していません。別途ご用意ください。
- 必ず排水処理を行ってください。
 - ポールは、下地のしっかりした場所、水はけのよい場所に施工してください。

⚠ 警告

以下の場所には施工しないでください。絶縁不良・転倒の原因となります。

- ・水のたまる場所 ・水気の多い場所 ・湿気の高い場所
- ・下地のやわらかい場所

⚠ 警告



厳守

壁スイッチは必ず設けてください。動作点検確認のため必要です。

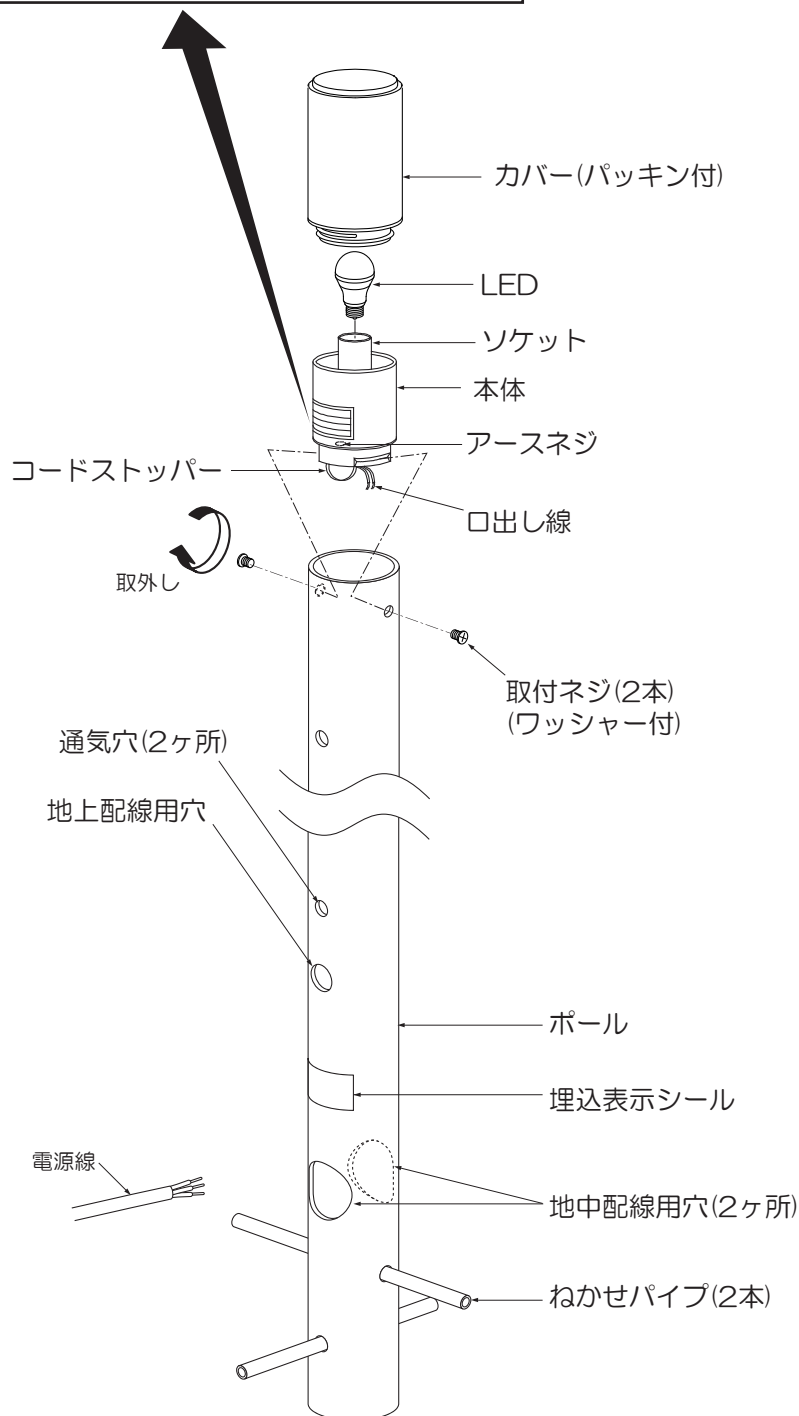
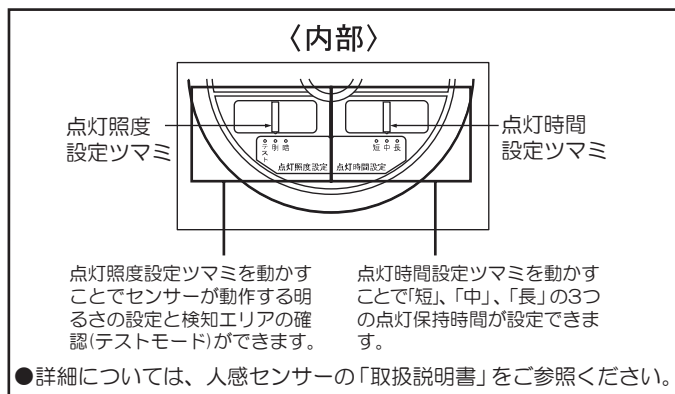
●各部のなまえと取付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください。

取付け前の準備

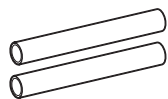
※下図は、簡略した図です。

- 取付ネジ(2本)を取外し、ポールから本体を取外す。



付属部品

取付けする前にまず付属部品をご確認ください



□ねかせパイプ
(2本)



□エリアマスク

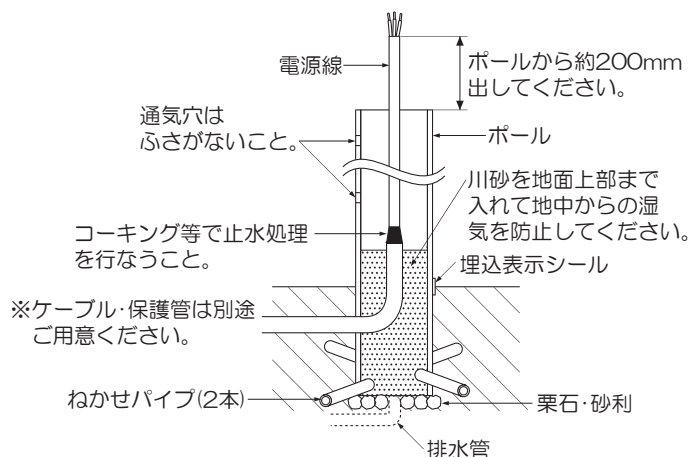
●各部のなまえと取付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください。

※下図は、簡略した図です。

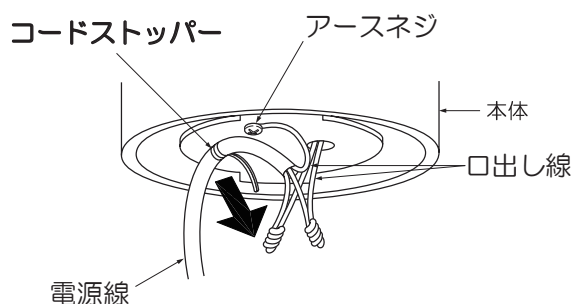
① ポールを埋め込む

- ポールにねかせパイプ(2本)を通す。
 - 電源線をポールの地上配線用穴または地中配線用穴に通し、ポール上部より約200mm出す。
 - ポールを垂直に埋込表示シールまで埋め込む。
- ※通気穴(2ヶ所)は埋め込まないでください。
- ※ポール内に水がたまらないよう十分な排水処理を行ってください。



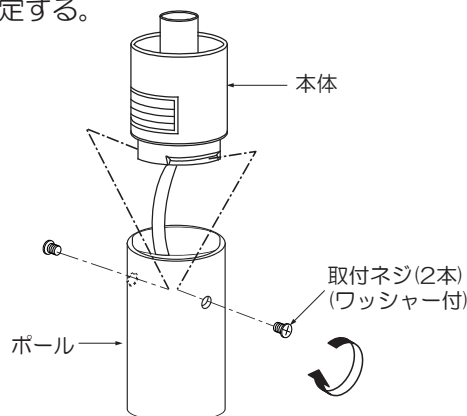
② 電源線を接続する

- 電源線をコードストッパーに通し、電源線と口出し線
を確実に結線し、必ず絶縁・防水処理を行ってください。
- アースネジを使用し、必ずD種(第三種)接地工事を行っ
てください。
- 結線後、コードストッパーを締め、電源線を固定して
ください。



③ 本体を取付ける

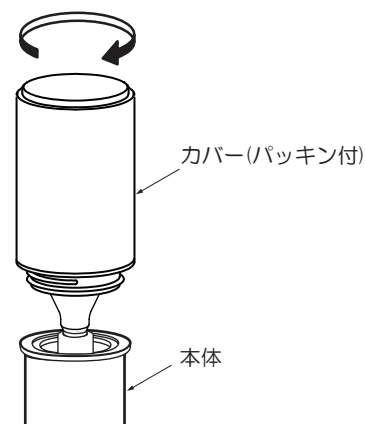
- 本体をポールに差し込み、取付ネジ(2本)で確実に締め付け固定する。



④ LEDを取付ける

⑤ カバーを取付ける

- カバーにパッキンが付いているか確認のうえ、本体に最後まで確実にねじ込む。



⑥ 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認する。
- ①点灯照度設定ツマミを動かし、「テスト」に設定してください。
- ②ブレーカー、壁スイッチをONにしてください。

警告



嚴守

壁スイッチは常にON状態でご使用ください。
誤動作の原因となります。

- ③1) 電源投入直後(停電復帰直後)から約30秒間は周囲の明るさ(照度)に関係なく点灯します。
※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。
- 2) その後周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間照明が点灯します。検知エリアを確認してください。
- ④点灯時間設定ツマミを動かし、点灯時間を設定してください。
- 点灯照度設定ツマミを動かし、点灯照度を設定してください。

※詳細については、人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

●ご使用方法

通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

壁スイッチが「ON」の時	1. 周囲が暗くなると消灯状態のままです。
	2. 人を検知すると点灯状態になります。
	3. 設定時間(約30秒、約60秒、約180秒間)点灯した後、消灯状態に戻ります。
	4. 周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)
壁スイッチが「OFF」の時	1. 周囲が暗くなっても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。

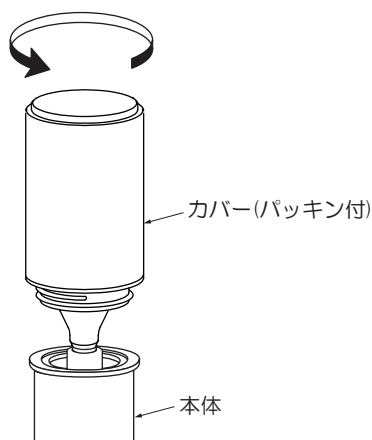
●詳細については、人感センサーの「取扱説明書」をご参照ください。

●LED交換方法

電源を切り、器具とLEDが冷めてから交換してください。

① カバーを外す

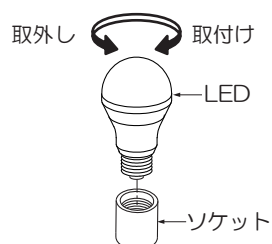
●本体からカバーを外す。



② LEDを交換する

●LEDを交換する。

※適合LED以外は使用できません。



③ カバーを取付ける

●「各部のなまえと取付けかた」手順 ⑤を参考にカバーを取付ける。

●ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません。

〔器具自体の留意点〕

●LEDはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

〔周囲の影響〕

器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。

- ラジオやテレビ等の音響・映像機器への雑音。
- リモコン機器(シャッター等)のリモコンが動作しにくくなる。
- トランシーバやラジオコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。

●点検とお手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください。

●明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

- ・LEDが切れていませんか。
- ・正常に点灯しますか。
- ・地面との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

●汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

※シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。

●仕様

品番は器具のラベルをご参照ください。

型番	定格電圧	周波数	消費電力	入力電流	適合LED	器具
DWP-38634Y	交流 100V	50/60 Hz共用	4.6W	0.09A	LED電球 電球色 E26 LDA4L-G/40/2783×1灯 大光電機(株)製	シルバー塗装
DWP-38638Y						黒塗装
DWP-38646Y						ウォームシルバー塗装

●LED光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。) 光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

●ON/OFFタイプ人感センサー付です。

●保証について

●この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

※保証期間の例外

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

●保証書について

保証書が必要な場合は、弊社「CSセンター」までお申し出ください。

●補修用性能部品の保有期間

弊社は照明器具の補修用性能部品の、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品を維持するために必要な部品です。

●商品についてのご相談

CSセンター(0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。